

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	くろいばーぬまた南	公表日	7年 3月 10日	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	はい 7	いいえ	工夫している点 移転し現在は改善されています。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1 6		配置は適切ではない日もあります。重度の利用者が多い事でより利用者の状態に合わせた職員配置を多くしていく事も、検討していきます。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		フラットな空間と車椅子移動がしやすいように、スロープがあり適切だと思います。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		コロナ禍から、二酸化炭素検知計等配置し、数値を見ながら環境を整えています。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		1人になる事でクールダウンができる環境は整っています。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		定期的に内部勉強会の場を設け、確認しています。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		評価表を活用し保護者の意向に沿う様に努めています。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		朝夕の申し送りやミーティング等での検討事項で業務改善になる様に努めています。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		外部評価は受けていません。
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		7	全体では難しい面がありますので、個々で進めています。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		関連性を明確にしたものを作成していきます。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		今後も保護者と話し合いを行い、作成していきます。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		児童発達支援管理責任者が立てた計画案を基に話し合い、最善のものを作っています。
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		今後も共通理解下、作成していきます。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		計画が新しくなった際には、サビ管より説明がしっかりと行われています。そして計画に沿った支援を行い、記録に残しています。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		今後も共有し計画に沿った支援をおこなって行きます。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		重心の為検査は受けていませんが、モニタリング等でアセスメントを作成し、確認をしています。

供 應	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		個別活動では機能向上を目標とし、集団活動では空間を共有できる環境作りを目標に行っています。	今後も計画に沿って、支援を続けていきます。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		ミーティングで役割分担を確認し合い、注意点があれば共有しています。	今後も注意事項を確認しながら進めています。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		送迎などで出来なかった日には、翌日必ず行っています。	振り返りをすることで情報共有が出来、次につなげる事が出来ています。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		健康面・状況変化・家族からの連絡等細かく記録しています。	今後も共通理解の元支援に当たりたいと思います。
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		概ね6カ月に一度モニタリングを行い、見直しを図っています。	必要に応じて見直しを図ります。
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7		自己肯定感を育み、季節の変化に興味を持ち、地域との交流を図り、目的を持った個々の活動等柔軟に組み合わせています。	生活全般の質を向上できる様に対応します。
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		選択肢の提示を行い選択肢の幅が広がる様に対応しています。	サポートすることで柔軟に対応する力を身に付けられる様に、対応を続けています。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		児童発達支援管理責任者と看護師が参加しています。参加前には職員間話し合いを設け、細かく伝えています。	今後も対応します。
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		学校・他の障害施設の方とは常に連携を取つたり、主治医からは指示書を書いていただきたりして、支援に活かしています。	今後も連携を行います。
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		送迎時や電話等で、細かく連絡を取り合っています。	今後も情報を共有し対応します。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	6		機会があれば情報共有を行います。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		相談支援専門員等を交えて情報共有を行っています。	今後も必要に応じて参加します。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7		管理者から研修についての内容報告を受け、知識向上を目指しています。	研修を行い知識向上を図ります。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		7	障害が重度な事もあり、感染リスクを考慮し自粛。	安全第一の元、検討します。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7		サービス管理責任者が毎月参加しています。	学びや情報共有できることもあり、今後も引き続き参加をします。
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		連絡帳や送迎時に状況を詳しくお伝えしています。	今後も対応します。
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7			必要に応じて対応します。
機 構 や 保 護 者 と の 連 携	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に説明を行っています。支援内容については、計画配布時に説明を行っています。	今後も丁寧な説明をおこなって行きます。
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		話し合いの機会は設けています。できるだけ本人家族の意向を踏まえた物になる様にしています。	今後も意向に沿った物になる様に対応します。
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		支援内容の説明を行い、同意を得てサインをして頂いています。	今後も丁寧に説明をします。
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。			迅速な対応を心掛けています。	引き続き助言を行い、支援に繋げています。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		7	】	検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		7	事実確認をし、対策の見直しを図っています。	今後も速やかに対応をし、職員間で共有し記録等に残し次に繋げていきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		7	季節行事や普段の取り組みについても、写真入りのお便りでお知らせしています。	今後も対応していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		7	厳重に注意しています。	注意して取り扱って行きます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		7	利用者・保護者共に意思疎通・情報交換を心がけています。	今後も配慮した対応を心がけて行きます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6	招待はしていませんが、訓練等の報告は行っています。	感染症等を配慮しながら、検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		7	様々なマニュアルは作成し、周知できる様にしています。訓練の際には、連絡帳や口頭で伝えています。	対応は続けていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		7	非常に備えた訓練は行っています。	災害を想定した避難、救出は今後も続けていきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。		7	検査報告書・投薬表・指示書は頂いています。	今後も注意深く対応していきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		7	現在アレルギーの利用者はいませんが、禁忌は理解しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		7	作成済みです。研修や訓練も行っています。	引き続き行っています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		7	感染症対策や災害時における対応について、文書でお知らせしています。	今後も対応していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		7	いくつかある事業所での全体会議で報告し、検討を行っています。	今後も続けていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		7	定期的に委員会を開き、話し合ったことを職員会議に落とし職員間周知を図っています。	今後も継続して取り組んでいきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。				拘束は行っていません。